

操作説明書

CPN-810

操作例

- ① $\text{ON/C}\cdot\text{CE}$ 電源オン、クリア、クリアエントリー
- ② 液晶表示画面に、「M」が表示されていないことを確認してください。表示されている場合は、前の計算のメモリ計算が保存されたままです。【MRC】キーを押して数値をクリアしてください。
- ③ 演算命令【+ - × ÷】キーを押したあとは、数値の訂正はできません。

計算例	キー操作	表示ディスプレイ
$100 + 50 - 30 = 120.$ $(-10) \times 20 \div 0.5 = -400.$	$100 \text{ [+] } 50 \text{ [=] } 30 \text{ [=]}$ $10 \text{ [+ / -] } 20 \text{ [=] } 0.5 \text{ [=]}$	120. -400.
12.34 34.56 -56.78 78.90 $\hline 69.02$	$12 \text{ [.] } 34 \text{ [+]}$ $34 \text{ [.] } 56 \text{ [+]}$ $56 \text{ [.] } 78 \text{ [+ / -] } +$ $78 \text{ [.] } 90 \text{ [=]}$	12.34 46.90 -9.88 69.02
$\sqrt{9} \times 5 = 15.$	$9 \text{ [\sqrt{ }] } 5 \text{ [=]}$	15.
10% of 150 $= (150 + 10\%)$ 5% add-on of 150 $= (150 + 5\%)$ 5% off of 150 $= (150 - 5\%)$ percentage of 20 against 50	$15 \text{ [0] } 10 \text{ [%]}$ $15 \text{ [0] } 5 \text{ [%]}$ $15 \text{ [0] } 5 \text{ [%]}$ $20 \text{ [=] } 5 \text{ [0] } 5 \text{ [%]}$	15. 157.5 142.5 40.
$368 + 97 + 97 =$ $839 - 47 - 47 =$ $5^4 =$ $5^3 =$	$368 \text{ [+] } 97 \text{ [=] } 97 \text{ [=]}$ $839 \text{ [-] } 47 \text{ [=] } 47 \text{ [=]}$ $5 \text{ [\div] } 5 \text{ [=] } 5 \text{ [=]}$ $5 \text{ [\times] } 5 \text{ [=] } 5 \text{ [=]}$	562. 698. 0.008 125
$12 \times 4 - 20 \div 2 = 38$	$12 \text{ [\times] } 4 \text{ [M+] } 20 \text{ [\div] } 2$ $\text{[M-] } \text{[MRC] } \text{[=]}$	M 38.
$456 + 378 =$	$456 \text{ [+] } 378$ $\text{[M+] } \text{[=]}$ 378 [=]	0. 834.

操作キーの説明

$\text{ON/C}\cdot\text{CE}$	電源オン、クリア、クリアエントリー
MRC	独立メモリーに記憶されている数値をリコール(呼び出し)するときとクリア(削除)するときに使います。 ◇一度押した場合は、記憶された数値をリコールします。 ◇二度押した場合は、記憶された数値をクリアします。 ※メモリーで積算された数値は、 $\text{ON/C}\cdot\text{CE}$ キーではクリアされませんので、必ず【MRC】を二回押してクリアしてください。
M+	メモリー + (表示された値を独立メモリーに加えます)。
M-	メモリー - (表示された値を独立メモリーから引きます)。
+/-	符号入替 (表示されている値の符号を正負入れ替えます)。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	数値を入力するときに使います。
.	数値の小数点を入力するときに使用します。
+ - \times \div	加算・減算・乗算・除算をするときに使います。
$\sqrt{\quad}$	平方根
%	パーセント

表示部の説明

表示ディスプレイ	記号名	説明
.	カンマ	3桁取りのカンマ
.	小数点	【小数点】キーを入力するか、計算に余りが生じた場合などに表示されます。
M	メモリ表示	独立メモリーマーク
-	マイナス表示	数値が負数になったときに表示します。
E	オーバーフロー	結果が表示可能桁数以上になった場合に表示します。

オーバーフローについて

次のような場合、オーバーフロー (E) が表示され、そのあとの置数や演算が停止します。【ON/C.CE】キーを一回押して、オーバーフローを解除してからもう一度、置数や演算を行ってください。

演算の結果の整数が 8 桁をこえた場合	$12,345,678 \times 1,234$ $= 15,234,566,652$	E = 152.34566
除数が0の除算を行った場合	$1 \div 0 = 0$	E = 0.

表示ディスプレイ

